

胡弓演奏家 木場大輔

日本独自の擦弦楽器・胡弓の伝統を伝え革新する、史上稀な胡弓専門奏者



©TAKUMI JUN

淡路島出身。甲陽音楽学院にて音楽理論とピアノを学ぶ。古典胡弓を原一男師に師事。一方で京都・大阪・東京の古典胡弓および文楽、風の盆、尾張万歳など日本各地で伝わる胡弓の奏法を研究。それらを組み合わせた演奏法の開発や、作曲、低音域を拡張した四絃胡弓の開発、世界唯一の巨大三味線「豪絃」をコントラバス弓で重低音の胡弓として使用した最先端のアプローチなどにより、胡弓の伝統に新たな光を当てている。

2015～2017年、NHK WORLD「Blends」に出演し、演奏が全世界に放映される。

2021年より、胡弓の伝統と革新をテーマに、胡弓リサイタルを東京・紀尾井小ホールにて4年連続で開催。文化庁芸術祭参加（2022年）、豪絃独奏曲「雲龍」作曲初演（2023年）など、常に注目を集め、高く評価されている。

文化庁他主催「NOBODY KNOWS」の映像作品や、NHK Eテレ「芸能きわみ堂」、国立劇場主催公演への出演など、古典から現代邦楽、ユニット活動、異分野との共演まで幅広く活動中。

作曲では胡弓独奏曲から邦楽器や世界の伝統楽器との作品まで展開している。

これまでにCD「Japan(2011)」「時の回廊(2015)」(木立)、「キイトビラ(2018)」「郡上八幡 糸あそび(2023)」(生糸)、DVD「木場大輔 胡弓 ウェブリサイタル(2020)」などを発表。

「木場大輔 胡弓の会」「異文化弦楽団」「絹擦会」代表。古地図歩きと食文化の探求（スパイス、発酵食、クラフトビール）が趣味。東京都在住。

胡弓演奏家 木場大輔 公式ウェブサイト <https://www.yuzuruha.net>

【作曲】

〈胡弓曲〉「焰」「恒河沙」「襲」「嘉兵衛の海」「あの雲のむこう」「ムルドルの夢」「ラヘイカ」「江戸の華」「空中都市」／〈豪絃曲〉「雲龍」「海神」／〈合奏曲〉「組曲 古事記 第一番・第二番」「シルクロード組曲 第一番・第二番」「四人の律動」「春疾風」 ほか

【古典作品の胡弓手付】

夕顔 笹の露 秋の言の葉 ゆき 水鏡 那須野 石橋 松竹梅 万歳 葵上 ほか

【活動ユニット】

和楽器ユニットおとぎ (2004～) 筑前琵琶、胡弓、尺八、箏
KODACHI ～木立～ (2009～) 胡弓、ピアノ
生糸 (2013～) 胡弓、箏
異文化弦楽団 (2021～) 胡弓、二胡、ガドゥルカ (ブルガリア)、チェロ、打楽器

【テレビ・ラジオ出演】

NHK FM「邦楽ジョッキー」(2014)
NHK WORLD「Blends」(2015,2016,2017) 全世界で放映
BSテレ東「おんがく交差点」(2017)
NHK総合「バナナゼロミュージック」(2018)
NHKラジオ「ラジオ深夜便」(2018)
NHK Eテレ「新春眼福!花盛り」(2019)
NHK Eテレ「にほんごであそぼ」(2019) 録音参加
NHK Eテレ「新・にっぽんの芸能」(2022)
NHK総合「うたコン」(2023,2024)
NHK Eテレ「芸能きわみ堂」(2024) ほか



NHK WORLD 収録風景 (演奏: 木立)

【映画・ドラマ・アニメなど劇伴】

映画「カムイ外伝」(2009)
NHK BS時代劇「新選組血風録」(2011)
映画「駆込み女と駆出し男」(2015)
NHK 連続テレビ小説「わろてんか」(2017)
映画「輪違屋糸里」(2018)
映画「CHAIN/チェイン」(2021)
TVアニメ「戦国妖狐」(2024)
ハリウッドドラマ「SHOGUN 将軍」(2024)
TVアニメ「推しの子」(2024)
NHK 連続テレビ小説「虎に翼」(2024) ほか



NHK「芸能きわみ堂」収録風景



SHOGUN 将軍



NHK朝ドラ 虎に翼

【舞台・動画配信】

ホリ・ヒロシ「人でなしの恋」(2018)
NOBODY KNOWS「うつりゆく季～花鳥風月～」(2021) 尾上右近主演
朗読劇「天守物語」(2022,2023) 篠井英介主演
歌舞伎「刀剣乱舞 月刀剣縁桐」(2023) 録音参加
宝生会「夜能 道成寺」(2024) ほか



尾上右近氏と日本遺産・那谷寺にて収録
(NOBODY KNOWS うつりゆく季)

【参加CD】

斎藤守也 (レ・フレール)「旅」(2013)
吉田兄弟「Horizon」(2014)
活撃 刀剣乱舞「活撃特典音楽集 参」(2017) ほか

《木場大輔 活動トピックス》

■NHK E テレ「芸能きわみ堂 胡弓の魅力」に出演！(2024年11月29日放送)

胡弓特集回のメインゲストとして木場大輔が出演。高橋英樹さんらとのスタジオトークや、大久保佳代子さんが胡弓に挑戦したりと、見どころ満載でした。

木場大輔作曲「焰」を日原暢子さんの二十五絃箏と演奏し、多くの反響を頂きました。



■「木場大輔 胡弓リサイタル 2024」4年連続で開催！

胡弓の伝統を継承しつつ応用・革新し、未来につなげる邦楽公演。伝統曲から、世界唯一の巨大三味線「豪絃」を重低音の胡弓として使用した最先端の取り組みまで、第一線のゲスト陣を迎え、紀尾井小ホールにて開催。「手事の華やかな掛合が面白かった」「豪絃の迫力ある重低音が魅力的」「びっくり感動した」など、高い評価を得ることができました。



■和楽器とシルクロードの楽器による「シルクロード組曲 第二番」を発表！

2020年、一般社団法人 SILKROAD JAPAN の委嘱により、「シルクロード組曲 第二番」を木場大輔が作曲。胡弓、笙、正倉院復元楽器の排簫、箏、三味線、インドのバーンスリー、イランのサントゥール、アラブのウッド、中東の打楽器によるシルクロードアンサンブルで、紀尾井小ホールにて初演しました。



■淡路島が生んだ英雄・高田屋嘉兵衛のテーマ曲「嘉兵衛の海」を発表！



兵庫県洲本市五色町商工会の委嘱で、淡路島出身の英雄・高田屋嘉兵衛の生涯に基づいた「嘉兵衛の海」を作曲、2018年の「高田屋嘉兵衛まつり」にて初演しました。2019年には小山丈氏編曲の吹奏楽版を、五色中学校と木立の演奏で発表しました。

胡弓について

胡弓は日本独自の擦弦楽器。中国の擦弦楽器「二胡」と混同されがちですが、全く別の楽器です。富山県の民謡行事「おわら風の盆」や、文楽・歌舞伎の「阿古屋」などで使われることでも知られています。

胡弓は江戸時代初期には成立し、三味線や箏の演奏家により洗練されてきました。

その反面、三味線や箏の引き立て役に回ることが多く、胡弓のために作られた僅かな本曲を除き、演奏の主役になる機会に恵まれてきませんでした。そのため胡弓専門の演奏家がほとんど出ず、その豊かな音楽性が一般に広く知られる機会がないまま今日に至っています。

日本の弦楽器の中でも「持続音」が出せることが大きな特長であり、伝統文化の価値を現代と未来に繋ぐ架け橋となり得る楽器と言えましょう。



©TAKUMI JUN

